

令和 4 年度  
公立高等学校入学者選抜学力検査問題  
社 会

第一問 民主政治の成り立ちについて、資料Aを読んで、あとの1～4の問いに答えなさい。

資料A 民主政治の成り立ち

紀元前5世紀頃、のアテネなどの都市国家では市民による政治が行われており、これが民主政治の起源とされます。しかし、奴隷制のうえに成り立っていたことなど、古代の民主政治には、現代の民主政治とは異なる面がありました。②17世紀から18世紀に欧米諸国で起こった革命を経て、③民主政治は、基本的人権の尊重などの原理と結びついて発達し、世界に広がっていきました。また、現代では、多くの民主主義国家が、間接民主制を採用しつつ、④直接民主制の考え方を一部取り入れた政治を行っています。

1 にあてはまる地名として、正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。  
ア インド                      イ エジプト                      ウ イラク                      エ ギリシャ

2 下線部②について、資料Bは、フランス革命のときに発表された人権宣言の一部です。人権宣言の内容に影響を与えたフランスの思想家を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

資料B 人権宣言の一部

第3条

あらゆる主権の原理は、本質的に国民に存する。(以下略)

ア ルソー                      イ ロック                      ウ マルクス                      エ ナポレオン

3 下線部③について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 民主主義を求める動きが高まりをみせていた、大正時代の日本のできごとについて述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 自由民権運動が始まった。                      イ 大日本帝国憲法が制定された。  
ウ 選挙権が男女に等しく認められた。                      エ 初の本格的な政党内閣が成立した。

(2) 日本国憲法が保障する基本的人権のうち、自由権に含まれる権利を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。


ア 参政権                      イ 生存権                      ウ 財産権                      エ 裁判を受ける権利

4 下線部④について、日本の政治において、直接民主制の考え方が取り入れられているものとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 憲法改正の発議                      イ 最高裁判所裁判官に対する国民審査  
ウ 内閣総理大臣の指名                      エ 裁判官に対する弾劾裁判

第二問 光一さんは、社会科の授業で、「九州地方の農業」について調べました。次の1, 2の問いに答えなさい。

1 光一さんは、九州地方の自然環境と農業について、地域ごとの特色を調べるため、略地図を準備しました。次の(1)~(3)の問いに答えなさい。

(1) 略地図中に  で示した平野では、米の生産がさかんです。福岡県と佐賀県にまたがって広がる、この平野の名称を書きなさい。

(2) 略地図中に示した、P~Sの地域それぞれにおいて、広くみられる地形や土壌について説明した文として、最も適切なものを、次のア~エから1つ選び、記号で答えなさい。

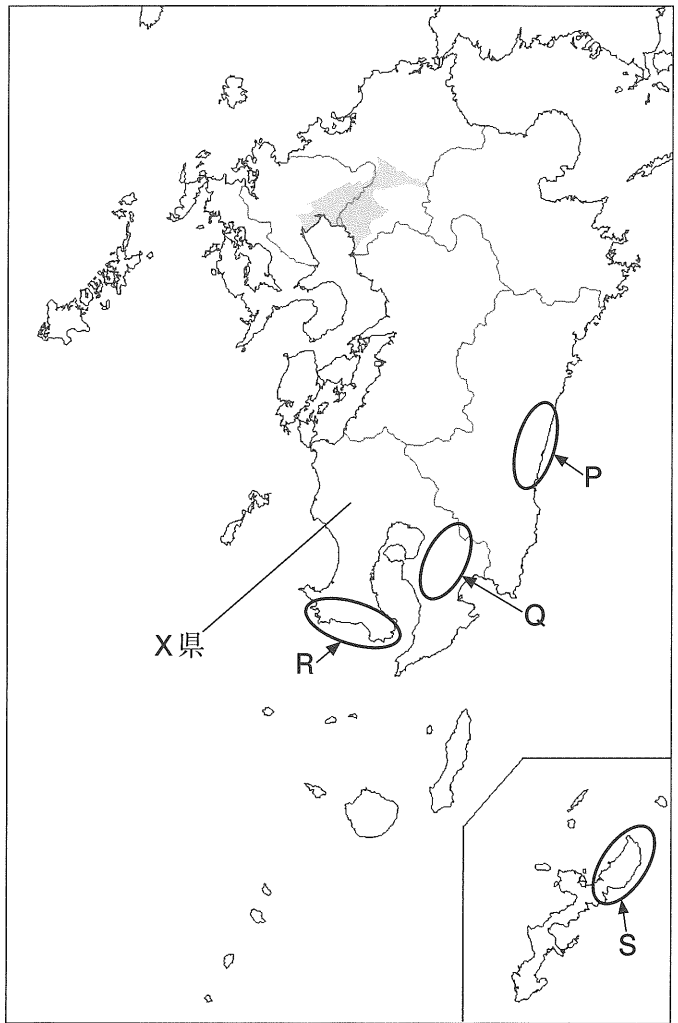
ア Pの地域には、海の近くまで続く険しい山地と、複雑に入り組んだりアス海岸が、広範囲にわたってみられる。

イ Qの地域には、火山活動にともなう噴出物が積み重なってできた、シラスとよばれる、水はけのよい灰白色の土の層が広がっている。

ウ Rの地域には、河川が運んだ、粒の細かな土が堆積してできた大規模な三角州が、河口に向かって広がっている。

エ Sの地域には、火山の噴火にともなう陥没<sup>かんぼつ</sup>などによってできた、カルデラとよばれる、大きくくぼんだ地形がみられる。

略地図



(3) 光一さんは、九州地方の各県で生産されるおもな農産物について調べ、資料Aを作成しました。資料Aは、九州地方の各県の農産物産出額上位4品目をまとめたものです。略地図中のX県を示すものを、資料A中の  ~  から1つ選び、記号で答えなさい。

資料A 九州地方の各県の農産物産出額上位4品目 (2019年)

	福岡県	佐賀県	熊本県	宮崎県	<input type="text" value="ア"/>	<input type="text" value="イ"/>	<input type="text" value="ウ"/>	<input type="text" value="エ"/>
品目 金額 (億円)	米 〔376〕	肉用牛 〔163〕	肉用牛 〔427〕	肉用牛 〔780〕	肉用牛 〔239〕	米 〔210〕	肉用牛 〔1278〕	肉用牛 〔254〕
	いちご 〔220〕	米 〔155〕	トマト 〔408〕	ブロイラー 〔687〕	さとうきび 〔152〕	肉用牛 〔152〕	豚 〔847〕	豚 〔127〕
	鶏卵 〔111〕	みかん 〔136〕	米 〔368〕	豚 〔521〕	豚 〔132〕	豚 〔83〕	ブロイラー 〔695〕	いちご 〔119〕
	生乳 〔82〕	ブロイラー 〔92〕	生乳 〔276〕	きゅうり 〔178〕	さく(切り花) 〔70〕	生乳 〔76〕	鶏卵 〔263〕	みかん 〔118〕

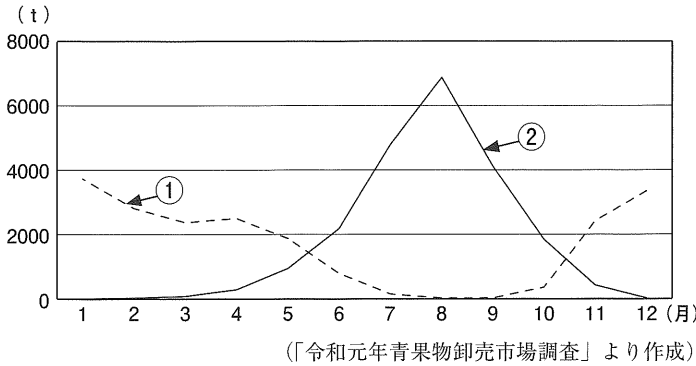
(注) ブロイラーとは、食肉用鶏の一品種である。また、数字は四捨五入している。

(「令和元年生産農業所得統計」より作成)

2 光一さんは、宮崎県の農産物産出額が、第二次世界大戦後に大きく伸びていることを知り、宮崎県の農業に着目して、調べを進めました。次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 光一さんは、宮崎県産のきゅうりが関東地方に多く出荷されていることを知り、宮崎県と同様に関東地方へのきゅうりの出荷量が多い福島県と比較するために、関東地方への月別の卸売数量を調べ、資料B、Cを作成しました。資料C中の **a** にあてはまる記号と、**b** にあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものを、あとのア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

資料B 宮崎県産と福島県産のきゅうりの関東地方への月別卸売数量（2019年）



資料C 宮崎県のきゅうり生産の特徴

資料B中の、関東地方に出荷された宮崎県産のきゅうりの卸売数量を示した **a** のグラフをみると、卸売数量が最も多くなる時期が、福島県とは異なることがわかります。これは、宮崎県の気候の特徴を生かした **b** を取り入れることで、出荷時期の調整が行われているからです。

- |   |       |          |
|---|-------|----------|
| ア | a - ① | b - 促成栽培 |
| イ | a - ① | b - 抑制栽培 |
| ウ | a - ② | b - 促成栽培 |
| エ | a - ② | b - 抑制栽培 |

(2) 光一さんは、宮崎県が、自然環境や農業を取りまく情勢の変化に対応した農業計画を策定し、その実現に向けて取り組んできたことを知り、資料D～Fを作成しました。宮崎県が策定した農業計画には、どのようなねらいがあったと考えられるか、資料D～Fを参考にして、簡潔に述べなさい。

資料D 宮崎県が策定した農業計画の内容の一部

- ・宮崎県防災営農計画（1960年）  
早期に収穫できる水稻，施設を利用する園芸農業，畜産を導入し，定着を図る。
- ・第四次農業振興長期計画（1991年）  
宮崎牛などのみやざきブランドを確立する。

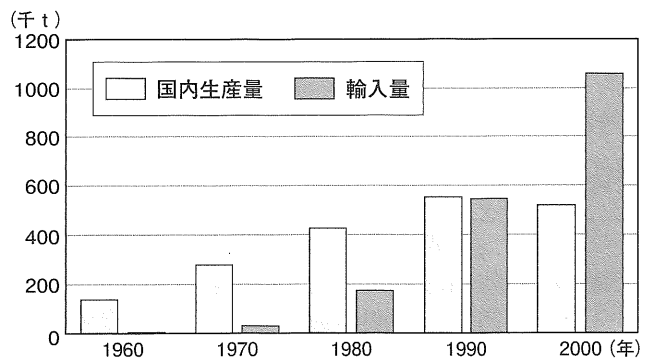
（「みやざき新農業創造プラン」などより作成）

資料E 台風による宮崎県の被害

- 宮崎県では、1945年から1960年のあいだに、台風の影響による大きな災害が6回起こった。
- 1954年9月の台風12号による豪雨災害では、約1万3,700haの田畑が、流失したり、埋没したりした。

（「九州災害履歴情報データベース」などより作成）

資料F 牛肉の国内生産量と輸入量



第三問 京子さんは、社会科の授業で、「みそとしょうゆの歴史」について調べました。資料Aは、京子さんが調べたことをまとめたものの一部です。これをみて、あとの1～5の問いに答えなさい。

資料A みそとしょうゆの歴史

<p><b>みそとしょうゆの起源</b> 古代中国でつくられている醬が、みそとしょうゆの起源とされる。日本では、①飛鳥時代には、醬がつくられていたと考えられている。</p>	<p><b>みその広まり</b> ②農業生産力が向上した鎌倉時代に、原料の大豆の生産量が増えた。③中世のあいだに、戦いのときの携帯食としての利用が広がり、みそ汁も普及した。</p>	<p><b>しょうゆの広まり</b> ④江戸時代にそばなどの庶民の料理が発展し、しょうゆの需要が高まった。⑤大量に生産されたしょうゆが各地に運ばれ、流通が拡大した。</p>
--	--	--

1 下線部①について、この時代の日本では、中国・朝鮮の文化を取り入れ、政治制度が整備されました。家がらによらず有能な人材を採用するために、7世紀初めに、役人の序列を定めた制度を何というか、書きなさい。

2 下線部②について、この時代の農業の特徴を述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 大陸から鉄器が伝わり、鉄の刃先をつけた農具が使われはじめた。
- イ 農具の改良が行われ、千歯こきや備中ぐわが使われるようになった。
- ウ 農法が進歩し、二毛作や牛馬による耕作が行われるようになった。
- エ 木版印刷が広まり、出版された農書を通じて農業技術が普及した。

3 下線部③について、戦乱の多かった中世には、多くの武士や農民が戦いに加わりました。日本の中世の戦いについて述べた次のア～ウの文を、起こった年代の古い順に並べかえ、記号で答えなさい。

- ア 幕府に不満をもつ武士を味方に付けた後醍醐天皇が兵を挙げ、幕府を倒した。
- イ 南朝と北朝に分かれて対立していた朝廷が統一され、長く続いた動乱が収まった。
- ウ 幕府に忠誠をちかった武士が、モンゴルの襲来に対して、防衛のために戦った。

4 下線部④について、資料Bは、そばを運ぶ人の姿がえがかれている、江戸時代の作品の一部です。

資料Bに関わる文化について述べた次の文中の  ,  にあてはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア a - 化政 b - 錦絵
- イ a - 化政 b - 水墨画
- ウ a - 元禄 b - 錦絵
- エ a - 元禄 b - 水墨画

この作品がえがかれたころ、 文化とよばれる、江戸を中心とした庶民の文化が発展し、この作品のような、庶民の生活のようすや風景をえがいた  が流行した。

資料B 江戸時代の風景画の一部

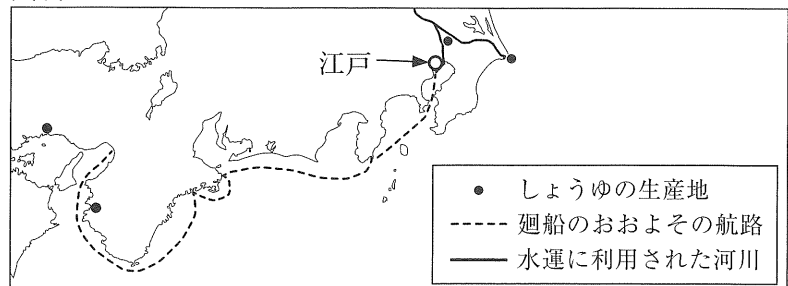


5 下線部⑤について、京子さんは、しょうゆの生産と輸送に興味をもって調べ、資料C、Dを作成しました。18世紀から19世紀のあいだに、江戸に供給されるしょうゆの、おもな生産地と江戸までの輸送は、どのようにうつりかわったと考えられるか、資料C、Dを参考にして、簡潔に述べなさい。

資料C 1726年と1821年に江戸に入荷したしょうゆの量と生産地

1726年	入荷したしょうゆは約13万樽で、そのうち約76%が関西地方産。
1821年	入荷したしょうゆは約125万樽で、そのうち約98%が関東地方産。

資料D 18世紀から19世紀の水運の航路の一部としょうゆのおもな生産地



(注) 数字は四捨五入している。

(資料C、Dともに「日本の味 醤油の歴史」などより作成)

第 四 問 科学技術の発展と社会の変化について、資料Aを読んで、あとの1～3の問いに答えなさい。

資料A 科学技術の発展と社会の変化

科学技術の発展は、社会に大きな変化をもたらしました。たとえば、①情報化の進展は、新しい産業を創出し、市場を拡大させました。また、②医療技術の進歩は、医療のあり方にも影響を与えています。私たちには、科学技術の発展にともなう変化に対応するとともに、③社会をよりよい方向に変える手助けになるように、科学技術を活用することが求められています。

1 下線部①について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 情報化の進展についてまとめた資料B中の **a** , **b** にあてはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア a - ICT                      b - 情報リテラシー  
 イ a - ICT                      b - マスメディア  
 ウ a - AI                        b - 情報リテラシー  
 エ a - AI                        b - マスメディア

(2) 科学技術の発展にともない、情報通信などの分野で、形のない商品の流通が増えています。市場で取り引きされる商品のうち、形のない商品のことを何というか、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 資本                              イ サービス                      ウ 株式                              エ 利潤

(3) 日本において、市場の独占を規制して自由競争をうながすために、独占禁止法にもとづいて監視や指導を行う国の機関を何というか、書きなさい。

2 下線部②について、医療のあり方の変化を背景に、医療現場でインフォームド・コンセントが求められるようになりました。インフォームド・コンセントについて説明したものとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 医師が、医療に関する十分な専門的知識を身に付けたうえで、患者の治療にあたること。  
 イ 医師が、治療の内容について記録を残し、患者からの要望があれば情報を開示すること。  
 ウ 患者の個人情報をも、患者の許可なく他者に知られないよう、医師が厳重に管理すること。  
 エ 治療方法などを患者が最終決定できるよう、医師が十分に説明して患者の同意を得ること。

3 下線部③について、科学技術を医療に生かす取り組みとして、情報通信機器を通して診察や診断などを行うオンライン診療の導入が進められています。オンライン診療について、導入することで高齢の患者が得られる利点と、導入にあたっての課題を、資料C～Eを参考にして、簡潔に述べなさい。

資料C 医療サービス利用時の移動手段 (2017年)

		自分で運転する自動車等	公共交通機関	家族による送迎
都市規模別 (%)	大都市	25.0	23.1	4.1
	中都市	46.8	9.9	11.2
	小都市	59.2	5.2	17.0
	町村	55.2	4.6	16.7
年齢別 (%)	55～59歳	65.4	11.8	1.3
	60歳代	59.8	7.7	6.2
	70歳代	40.9	12.0	12.8
	80歳以上	21.9	14.0	26.5

(注) 調査対象は全国の55歳以上の男女である。また、数字は四捨五入している。  
 (「平成29年高齢者の健康に関する調査」より作成)

資料B 情報化の進展

**a** と略称される情報通信技術は、急速に発展し、私たちの生活の利便性を大きく向上させました。一方で、情報化社会に対応するために、情報を正しく読み取り活用する能力である **b** を身に付けることが求められています。

資料D 年齢階層別インターネット利用率 (2017年)

年齢階層	インターネット利用率 (%)
60歳代	73.9
70歳代	46.7
80歳以上	20.1

(「令和元年版情報通信白書」より作成)

資料E オンライン診療に患者への配慮を取り入れた例

看護師などが通信用機器を持参して患者宅を訪問し、機器の設置と診療のサポートを行う。

(「厚生労働省ホームページ」より作成)

第五問 美雪さんは、社会科の授業で、「南アメリカ州の人々の生活と文化」について調べました。次の1～3の問いに答えなさい。

1 美雪さんは、南アメリカ州の自然環境と生活とのかかわりについて調べ、資料Aを作成しました。あとの(1), (2)の問いに答えなさい。

資料A 南アメリカ州の自然環境と生活とのかかわり



- アマゾン川の流域に暮らす先住民は、焼畑農業を行い、キャッサバとよばれるいもなどを栽培してきました。また、川でとれる豊富な魚は、流域に暮らす人々の食生活にかかせないものとなっています。
- ラプラタ川流域の平地には、河口付近を中心に、①とよばれる広大な草原が広がっています。この地域では、19世紀から大規模な牧畜が発展し、牛肉を使った料理がよく食べられてきました。
- ②アンデス山脈の高山地帯に暮らす先住民は、とうもろこしやじゃがいもなどを、それぞれの栽培に適した標高の場所で作くり、それらの作物を標高の異なる地域のあいだで互いに交換してきました。

(1) ①にあてはまる語句を書きなさい。

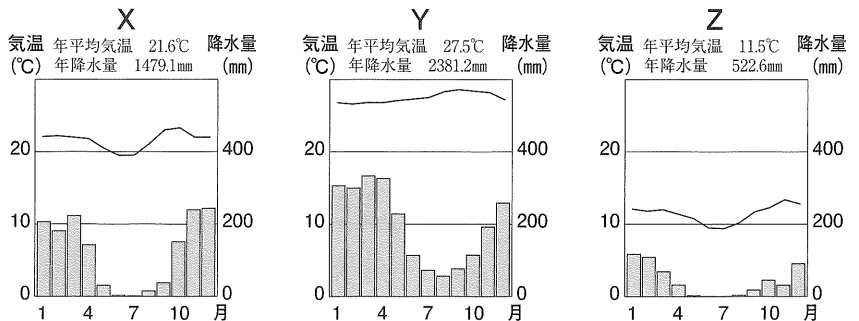
(2) 下線部②について、美雪さんは、南アメリカ州の気候について、アンデス山脈の高山地帯の気候を他の地域の気候と比べるために、資料A中に示したI～Ⅲの3つの都市の標高と気候を調べ、資料B, Cを作成しました。都市I～Ⅲと、資料C中のグラフX～Zの組み合わせとして、正しいものを、あとのア～カから1つ選び、記号で答えなさい。

資料B 都市I～Ⅲの標高

	都市I	都市II	都市III
標高(m)	3,826	72	1,159

(「気象庁ホームページ」より作成)

資料C 都市I～Ⅲの気温と降水量



(「気象庁ホームページ」より作成)

	都市Iの グラフ	都市IIの グラフ	都市IIIの グラフ
ア	X	Y	Z
イ	X	Z	Y
ウ	Y	X	Z
エ	Y	Z	X
オ	Z	X	Y
カ	Z	Y	X

2 美雪さんは、南アメリカ州では、多様な人々が混ざり合っ  
て暮らす社会が形成されていることに気づきました。そこで、  
そのような社会が形成された背景について、南アメリカ州で最  
も人口が多いブラジルに着目して調べを進め、資料Dを作成し  
ました。あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

資料D ブラジルに暮らす人々の特徴

公用語	ポルトガル語
人種・民族の構成	ヨーロッパ系 (約48%) 混血 (約43%) アフリカ系 (約8%) アジア系 (約1.1%) 先住民 (約0.4%)

- ブラジルには、ヨーロッパ系とアフリカ系とのあいだの混血の人々が多く暮らしています。これは、メスチソ (メスチーソ) が多い、ペルーなどの、アンデス山脈に位置する国とは異なる特徴です。
- ブラジルには、移民の子孫が多く暮らしています。農園での労働力として、ヨーロッパやアジアから多くの移民がブラジルに渡りました。③1908年に日本からブラジルへの最初の移民が渡り、1920年代から1930年代には特に増加しました。

(「外務省ホームページ」などより作成)

- (1) 下線部③について、ブラジルへの移民の増加がみられた、1920年代から1930年代の日本のようすについて述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 高度経済成長と急激な人口の増加により、エネルギー不足が心配されるようになった。
  - イ 関東大震災や恐慌の影響で失業者が増え、各地で激しい労働争議や小作争議が起こった。
  - ウ 日露戦争の開戦により軍事費が急増し、それにとまなう増税が国民の生活を圧迫した。
  - エ 地租改正で決められた税負担などに対する不満が高まり、改正反対の一揆が起こった。

(2) 美雪さんは、ブラジルに暮らす人々の食文化について調べ、さまざまな食材が使われている伝統料理に興味をもち、資料Eを作成しました。ブラジルの食文化の形成には、どのような歴史的背景があると考えられるか、資料D、Eを参考にして、簡潔に述べなさい。

資料E ブラジルの代表的な伝統料理

料理名	フェイジョアード
特徴	○ 黒いんげん豆と豚肉・牛肉などを煮こんだ料理で、米やキャッサバとともに食べる。 ○ 豚・牛はヨーロッパから持ちこまれた。また、キャッサバは先住民の伝統的な主食の一つであり、米は西アフリカで古くからつくられてきた作物である。 ○ かつて、アフリカ系の人々が、ヨーロッパ系の人々が食べなかった豚の部位を、黒いんげん豆とともに煮こんで食べたことが始まりとされる。

(「世界の食文化13 中南米」などより作成)

3 美雪さんは、ブラジルに暮らす人々について調べるなかで、先住民の生活と文化を保護することが課題となっていることを知り、資料Fを作成しました。資料F中の [ ] にあてはまるものとして、最も適切なものを、あとのア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

資料F ブラジル先住民の生活と文化の保護

ブラジルの先住民の多くは、アマゾン川の流域で、部族ごとに独自の文化を守りながら暮らしています。しかし、アマゾン川の流域では、[ ] が起こっており、このことが、先住民の生活をおびやかしています。アマゾン川流域の自然環境を保護することは、先住民の生活と文化を保護し、ブラジルの多様な文化を守ることもつながります。

- ア 酸性雨による森林の立ち枯れと湖沼の水質変化
- イ 温暖化による干ばつの頻発と砂漠の拡大
- ウ 農地開発などのための伐採による森林の減少
- エ 大規模なかんがいによる地下水の減少

第六問 拓矢さんは、社会科の授業で、「国際問題と日本の国際貢献」について調べ、資料Aを作成しました。これを読んで、あとの1～4の問いに答えなさい。

資料A 国際問題と日本の国際貢献

①世界各地で起こっている戦争や地域紛争、テロは、多くの難民を生み出し、貧困や飢餓などの問題を深刻化させています。これらの問題を解決し、よりよい社会を実現するためには、従来の安全保障の考え方に加えて、一人一人の生命や人権を大切にして平和と安全を実現する「②の安全保障」という考え方が重要です。日本を含む多くの国が、③国際連合をはじめとする国際機関と協力しながら、④政府開発援助などを通じて途上国への支援を行っています。今後も、国際社会が協調して、国際問題の解決に向けた継続的な取り組みを進めていく必要があります。

- 1 下線部①について、第二次世界大戦後に起こった、戦争や地域紛争、テロにかかわるできごとについて述べた次のア～ウの文を、起こった年代の古い順に並べかえ、記号で答えなさい。  
 ア アメリカのニューヨークなどで、同時多発テロが起こった。  
 イ ベトナムで起こった戦争に、アメリカが軍事介入した。  
 ウ 冷戦による東西対立の象徴であったベルリンの壁が崩壊した。
- 2 ②にあてはまる語句を書きなさい。
- 3 下線部③について、国際連合と連携して活動する専門機関のうち、医療や衛生などに関する活動を行う機関として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。  
 ア PKO                      イ WHO                      ウ UNESCO                      エ UNICEF
- 4 下線部④について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 資料Bは、政府開発援助の援助額上位6か国の援助額の内訳を示したものです。資料Bから読みとれることについて述べた文として、正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 援助額計の上位6か国のうちでは、援助額計が大きい国ほど、国際機関向け援助額が大きくなる。
- イ 援助額計の上位3か国はいずれも、援助額計に占める二国間援助額の割合が9割以上である。
- ウ 日本は、援助額計の上位6か国のうちで、二国間援助額に占める技術協力の額の割合がもっとも大きい。
- エ オランダは、援助額計に占める国際機関向け援助額の割合が、日本と比べて大きい。

資料B 政府開発援助の援助額上位6か国の援助額の内訳 (2019年)

	援助額計 (億ドル)	二国間 援助 (億ドル)	うち 技術協力	国際機関 向け援助 (億ドル)
アメリカ	335	293	7	42
ドイツ	242	186	61	56
イギリス	194	131	20	63
日本	156	118	20	38
フランス	122	74	17	48
オランダ	53	34	5	19

(注) 二国間援助とは、相手国に直接援助を行うものである。また、数字は四捨五入している。〔外務省ホームページ〕より作成

(2) 拓矢さんは、日本で、ある団体が行う、「市民参加協力事業」という事業について知り、資料C、Dを作成しました。この事業によって、日本での国際貢献の取り組みと活動対象地域の発展に、どのような効果が期待されるか、資料C、Dを参考にして、簡潔に述べなさい。

資料C ある団体が行う「市民参加協力事業」

開発途上地域の住民に対して経済・社会の開発や復興のための協力活動を行う。個人、NGO、自治体、大学、民間企業などを募集する。  
 志望者に対して、それぞれの国際協力活動の経験や提案内容に応じて、活動資金や研修などを提供する。

資料D ある団体が行う「市民参加協力事業」を通じた活動の例

- NGOが、カンボジアで、乳幼児の栄養状態を改善するために、母親への離乳食の指導や、地元の食材で作れる離乳食レシピの開発などを、乳幼児検診を担当する現地スタッフと共同で行った。
- NPO法人が、インドネシアで、現地の人を対象に、故障した車いすを整備・修理する技術を身に付けるための講座を開き、マニュアルを作成した。

(資料C、Dともに「国際協力機構ホームページ」より作成)



備考欄	配点		第一問	
	15			
	3	1	エ	
	3	2	ア	
	3	3	(1)	エ
	3		(2)	ウ
	3	4	イ	

備考欄	配点		第二問	
	17			
	3	1	(1)	筑紫 [平野]
	3		(2)	イ
	3		(3)	ウ
	3	2	(1)	ア
	5		(2)	(例) 台風の影響を受けにくい農業生産を進めることで、台風による農業被害を減らすとともに、牛肉などの県産農産物のブランド化を進めることで、輸入量が増加する外国産農産物に対抗するための競争力を高めようとした。

備考欄	配点		第五問	
	17			
	3	1	(1)	パンパ
	3		(2)	カ
	3	2	(1)	イ
	5		(2)	(例) ブラジルを植民地にしたポルトガルが、先住民を支配し、アフリカから奴隷として連れてこられた人々を労働力としたこと。
	3	3	ウ	

備考欄	配点		第三問	
	17			
	3	1	冠位十二階	
	3	2	ウ	
	3	3	ウ → ア → イ	
	3	4	ア	
	5	5	(例) 関西地方産のしょうゆが廻船で海上輸送されていたのにかわり、関東地方産のしょうゆが河川を利用して輸送されるようになった。	

備考欄	配点		第四問	
	17			
	3	1	(1)	ア
	3		(2)	イ
	3		(3)	公正取引委員会
	3	2	エ	
	5	3	(例) 自身の運転や公共交通機関による移動が難しい高齢の患者にとって、移動が不要だという利点がある一方、通信用機器の使用が難しい高齢の患者には、受診に支援が必要だという課題がある。	

備考欄	配点		第六問	
	17			
	3	1	イ → ウ → ア	
	3	2	人間	
	3	3	イ	
	3	4	(1)	エ
	5		(2)	(例) 国際協力活動に参加しやすくなることで、国際貢献に取り組む市民が日本で増えるとともに、課題解決に必要な知識や技術の伝達などを通じて現地の人々の自立を支援することで、活動対象地域の持続的な発展が見込まれる。

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。